

「ダイバーシティ(多様性)」と音楽&ダンスが出会う一夜かぎりのスペシャルなライブイベント

## True Colors SPECIAL LIVE 2024

「新しい学校のリーダーズ」と中高生を中心とした個性あふれる学生ダンサーたちが共演！

「True Colors DANCE 2024」コラボステージも披露！

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS(理事長 佐藤英夫)は、2024年3月7日にNHKホール(東京・渋谷)で「True Colors SPECIAL LIVE 2024」を開催。人気アーティストと多様な個性が光る障害のある演奏者やパフォーマー計14組が集結し、ここでしか見られないコラボレーションや超絶テクニックを観客2,752名(うち、鑑賞サポート席利用127名)に披露しました。

前説として、“ダンスで福祉をデザインする”団体「ソーシャルワーカーズSOCIAL WORKEERZ」の代表を務める DAIKI さん、難聴うさぎさん、手話通訳の麻生かおりさんと武井誠さんが登場。このイベントの主旨や観覧の配慮などが説明され、「思いやり」を持ってイベントを楽しむことが伝えられます。そして手話による拍手を使って、DAIKI さんが観客とコール&レスポンス。会場が温まります！



「超いろとりどり！音楽&ダンス」のテーマ通り、ダンサブルな楽曲でイベントはスタート。ブルーノ・マーズ「Uptown Funk」に乗せて、出演アーティストが次々に登場するや大きな歓声が。「のっけからヤバイね！」という MC ウエンツ瑛士さんの言葉通りに、どんなイベントになるのか期待が高まります。



もう1人の MC ゆうか影山優佳さんが「多様な個性を尊重して楽しむ」というイベントのテーマを紹介。会場では、障害のある方もイベントを楽しんで頂くためのさまざまな鑑賞サポートが行われました。手話通訳の麻生かおりさんと武井

誠さんが MC のトーク内容を伝え、さらに 2 名の手話パフォーマー<sup>くにー</sup>Kuniyさんと RIMI さんが情感をこめて歌詞を表現、トークや歌詞の字幕もリアルタイムでビジョンに表示されました。また、振動を介して音を感じ取るボディソニックを備えた座席や、網膜にレーザーを投射して弱視を補助する機器・レティッサオンハンドなどが用意され、障害やニーズに応じて鑑賞サポートを活用しながら楽しむ観客の様子も紹介されました。

イベントのトップバッターは FANTASTICS。軽快なボーカルに本格的なダンスという彼らしいスタイルで「STAR BOYS」を披露。続く名曲「Choo Choo TRAIN」では、オリジナルにアレンジした縦列ダンスでスタート。メンバーに異なる障害がある驚異の多国籍ブレイキンクルー、ILL-Abilities<sup>イルアビリティーズ</sup>とバッチリ息のあったコンビネーションもあり、このイベントならではのコラボの楽しみ方を垣間見ることができました。



続いてオーストラリアを拠点に活動する車いすジャズ・ボーカリスト、トニー・ディーさん。「Only You」では、スウィングなジャズサウンドに乗せてハートフルな歌声を披露。続くコラボステージは、「The Lady Is A Tramp」でフィリピン出身のボーカリスト<sup>はるみ</sup>遥海さんとデュエットし、お互い抜群の歌唱力で軽妙な恋のゲームを歌いあげました。そして<sup>はるみ</sup>遥海さんが、ヒット曲「Pride」のパワフルな歌唱で、会場の空気を一変させます。





そんな中、突如暗転しチャイムが鳴り響きます。昨年の「NHK 紅白歌合戦」初出場から日本武道館公演のソールドアウトをはじめ国内外で快進撃が止まらない、新しい学校のリーダーズです。ゴージャスなオリジナルのどてら姿で、新曲「Toryanse<sup>とおりやんせ</sup>」で登場し、「Giri Giri」では、青春の焦燥感を強いビートで歌い上げ、彼女たちらしい学校ネタの歌詞字幕がビジョンに映し出されます。しっかり歌詞を把握しながらパフォーマンスを楽しめるのは、このイベントならではの。

そして大ヒット曲「オトナブルー」では、もちろん場内みんなで「首振りダンス」。ダンサブルな手話パフォーマーとSUZUKA さんとの掛け合いも見どころでした。そして「下校！」で一気にステージを走り去り、「リーダーズ・タイム」が終了！



…と思いきや、再びステージに登場。「新しい学校のリーダーズ」の楽曲「踊る本能 001」をテーマソングにしたプロジェクト「True Colors DANCE 2024」が紹介されました。

ステージに「新しい学校のリーダーズ」と共にズラリと並んだ 34 名は、関東の強豪高校のダンス部員、ろう者、ダウン症、車いすユーザーなどさまざまな違いを持つ中高大学生ダンサー、そしてプロジェクトのメンターをつとめるソーシャルワーカー<sup>みゆ</sup>と世界的ハウスダンサーMiyuさん。



本能のままに狂喜乱舞のパフォーマンスが繰り出される中、突如音楽が止まり、体を手足で鳴らす「ストンプ」でブレイクダウン。体が弾<sup>はじ</sup>く生のビートが折り重なり、共鳴し、拡散し、掛け声と共に波動となって、会場の空気を揺らします。

音も自分たちの体で出す。これぞ LIVE、これぞ生きているダンス！

そして「新しい学校のリーダーズ」のSUZUKA さんの「踊る本能～！」のシャウトで、ハウス～クランプ～ブレイキンのソロが繰り出され、ステージはさらにヒートアップ！

終了後の MC では参加メンバーの想いが。車いすモデルの鳥居百舌さんは「仲間のおかげで大きく成長できました」、ダンス部員のユアトくんは「一人一人の違いを個性として表現できるダンスって最高だなんて思いました!」、SUZUKA さんは「この曲もめっちゃ喜んでいるし、踊る喜びをみんなで味わえたっていうとんでもない経験でした。みんなが個性や自由ではみ出していける世界を、このダンスで体現できたらと思います!」と熱くメッセージを送りました。



続いては、さまざまな障害がありながら世界的に活躍する日本人アーティストが登場。

全盲のシンガーソングライター、佐藤ひらりさんは「5歳の頃から大事に歌っていた」という「Amazing Grace」を披露。

神々しいまでの歌声が会場を祝福のムードで包み込みました。

続く全盲のギタリスト、田川ヒロアキさんは、ネックを上から押さえる独自の奏法で「アヴェ・マリア」をメロディアスに奏でると、一転ハードなロックナンバーで駆け抜けます。幅広い音楽性と高度なテクニックを披露しました。



そしてレゲエ調のゆったりしたリズムでの「カントリー・ロード」では MC 影山優佳<sup>ゆうか</sup>さんが出演し、「小学校の頃に学んだ」という手話を情感たっぷりに表現していました。





発達障害を抱える野田あすかさんは、ドビュッシー「月の光」で美しい夜景が浮かび上がるようなピアノの調べを。ビリー・ジョエル「ピアノ・マン」では、MC ウエンツ瑛士さんの力強い美声に野田あすかさんのピアノも呼応していく。ウエンツさんは「あすかさんのピアノは一音一音、感情を伝えてくれる。僕達なりのピアノマンができたと思います」と語りました。



次に登場したのは東京 2020 パラリンピック閉会式でパフォーマンスをしたデフダンサー、GenGenさん。エド・シーラン「Shape of you」に乗せ、アーティスティックな衣装を身に纏い、全身の感覚で音を表現します。途中で音が途切れ、無音で踊るパートも。「無音で踊る感覚をみなさんにも知ってほしい」というGenGenさんの想いから取り入れた演出でした。終演後は「ダンスは人生であり、使命、目標。人と人のつながりを作ってくれる、大きな愛のあるものです」と、懸命に語りました。



そしてメインダンサー&バックボーカル・グループ、超特急。テーマソングである「Burn!」をフレッシュに披露、続く昭和の名曲「前略、道の上より」のカバーでは一転、低身長症プロダンサーの DAIKI さんをセンターにしたフォーメーションで、SOCIAL WORKEERZとのコラボによる気合の入ったパフォーマンスを披露しました。



続いては「言い訳なし、限界なし」を掲げる多国籍ブレイキンクルーILL-Abilities。静謐な曲でのストイックなムードのなか、予想を超える技の連続に人間の持つエネルギーとそこから生まれる芸術性が表現されていました。スローな動きでのブレイキン技だからこそ、彼らのスキル&フィジカルの底力を感じられました。



トリはミャンマー出身の実力派シンガー、森崎ウインさん。「Fly with Me~Don't Boo ドンブラザーズ」では、軽快なグルーブに乗せて、ハイトーンな歌声が響き渡る。「Beat it」では、本家マイケル・ジャクソンばりのシャウトを、田



川ヒロアキさんのエッジの効いたギターソロが追いかけて、得意のライトハンド奏法で超人的なプレイを連発。間奏では、ILL-Abilities、Miyuさん、GenGenさんも加わり、個性がカラフルに交差するダンスセッションを繰り広げました。



盛り上がり最高潮になったまま、エンディングへ。出演者が集まりブルーノ・マーズ「Just the way you are」を大合唱。

ステージ上にさまざまな衣装、さまざまな個性、さまざまな色が。

でも愛でつながれば、すべては1つ。差別も区別もない。

まさに「Just the way you are」＝“そのまま”の個性を尊重する世界。

その世界を音楽とダンスで表現した「True Colors SPECIAL LIVE 2024」は、大きな感動と共に幕を閉じました。

